

2013年6月1日発行

一般社団法人 日本顎顔面補綴学会

Japanese Academy of Maxillofacial Prosthetics

Newsletter No. 17

Maxillofacial Prosthetics

発行人 石上友彦

編集 広報委員会

事務局 〒135-0033 東京都江東区深川2-4-11 一ツ橋印刷(株) 学会事務センター内

Tel : 03-5620-1953 Fax : 03-5620-1960

E-mail : max-service@onebridge.co.jp

一般社団法人 日本顎顔面補綴学会 スタート !!



理事長 石上 友彦

日本顎顔面補綴学会の一般社団法人化への移行に関して、学会員の皆様には法人制度等、その必要性についてもわかりにくいこともあります。ご迷惑をおかけしました。

先人達が築き上げた本学会は顎顔面補綴治療を必要とする患者のために、領域を超えて活動するため、1976年に研究会を発足し、1984年に学会を設立しました。本学会は種々の制約にとらわれず自由に学術的な活動を行う事を良しとし、活発に活動してきました。

法人化については前の後藤理事長時代に社会の

動静を考え、責任ある学会としての社会貢献を目的として始まりました。しかし、法人の形態が転々と変化し、見送らざるを得ない状態でした。現在、法人の形態も落ち着き、様々な制約はあります。一般社団法人への移行は、我々の行動、発言に対し責任を持ち、国民に対して、より質の高い医療を提供するとともに、患者に有益な治療方法を検討し、我々の治療を必要としている患者の窓口として大きく扉を広げ、患者の社会復帰への足場として貢献していくものと確信しています。さらに、今後は会員同士の医療連絡網を整備し、各専門施設がインターネットによる症例検討が行えるシステムを構築し、治療の質を向上させながら共同研究を深め、学会を通じて領域を超えた治療方法を確立し、世界の先頭に立って、治療のガイドラインが提示できればと考えます。そして、患者に貢献するとともに、多くの後見者も育成し、世界レベルで医療連携をしていきたいと思います。一般社団法人日本顎顔面補綴学会の更なる発展を共に頑張りましょう。



副理事長 鮎見 進一



法人化準備委員会委員長 館村 卓

日本顎顔面補綴学会は、2012年11月1日に一般社団法人となりました。2013年2月18日に第66回理事会が開催され、一般社団法人となった旨の報告ならびに今後の本法人のあり方について検討がなされました。未解決問題につきましては、その後メール会議を重ね、現理事メンバーが2014年の社員総会終結時まで継続すること、現評議員を代議員に名称変更し同じく2014年の社員総会終結時まで継続することが決定しました。

本法人は、会員相互並びに国内外の関連団体との交流を深め、顎顔面補綴に関する基礎的及び臨床的研究、教育及び診療についての会員の能力向上を図るとともに、それにより地域社会における口腔の健康の維持と向上に貢献し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを会員共通の目的としております。

顎顔面補綴領域の学術団体として本会ほどの会員を有する団体は世界を見渡してもないと思います。これは先人達の永年に亘る努力の賜であることは言うまでもないことですが、今回一般社団法人となったことにより、会員の皆様には新たに本会の会員として身を引き締めて頂き、国民に対する安心安全な医療の提供のために、会員相互ならびに関連他学会との連携による共同研究、共通認識のもとでの実習を含めた学生教育の検討、顎顔面補綴の国民への啓発等を推進し、全会員の協力の下で国際的リーダーシップがとれる学会を目指して行きたいと思う次第です。今後とも本会へのご協力を何卒宜しくお願い致します。

法人化準備委員会は、2007年～2008年度期に、多くの他学会が法人化に向けての活動を開始していましたことで、設立されました。私はこの期ではなく、2009年度以後の委員として参加いたしました。

私の仕事は、法人化作業の前の準備でした。その頃の法人化についての意見には、本学会の規模が小さく、会則と事務局を持ち、会計報告を行い、市民活動等も行なっていることで法人化学会と大差なかったため、積極的でないものもありました。すなわち、法人化「する」か「しないか」の方針も決定されていませんでした。私の仕事は、法人化しない場合には対外的な活動や資金の借り入れが無限の個人（学会会長）責任となり、公的資金の受け入れが難しいことの一方で、法人化すると社会的承認が得られ、財務上のリスクマネジメントが可能になり、多様な社会活動を広く展開する上での資金の調達や助成金を容易に得られることを説明させていただくことでした。

2年をもって一般社団法人になることで意見の一致を見た後の実質的な法人化作業は、2011年度以後の委員会に加わっていただいた日本顎関節学会の法人化に手腕を振るわれた柴田考典先生に負うところ絶大であり、微に入り細を穿つ先生のご活躍の結果、素晴らしい速さで昨年11月に法人化されました。柴田先生には深く感謝申し上げます。

松山広報委員長からは法人化に向けた苦労話との御指示でしたが、私のほとんどの仕事は説明と根回し程度でしたので、書き残すほどのものはありません。ただ、せっかく法人化されたのですから、今後の理事会評議員会では、そのメリットを最大に生かすような学会活動を是非とも企画していただきたいと思っております。

学会理事紹介



石上 友彦



大木 秀郎



尾澤 昌悟



小野 高裕



久保 吉廣



熊倉 勇美



後藤 昌昭



佐々木啓一



塩入 重彰



下郷 和雄



関谷 秀樹



館村 卓



谷口 尚



秀島 雅之



鰐見 進一



松山 美和



山森 徹雄

2012 年度優秀論文賞受賞者の声

南澤 直子

東京医科歯科大学大学院

『Assessment of Oral
Stereognostic Ability in
the Post-maxillectomy
Patient』

(顎顔面補綴 35巻 2号)



この度は 2012 年度優秀論文賞という名誉ある賞をいただき、大変嬉しく、また身の引き締まる思いです。数多くの貴重なご指摘を戴いた査読の先生方はじめ、諸先生方に心から感謝申し上げます。

補綴装置による摂食機能の回復は補綴歯科の大きなテーマの一つですが、咀嚼、嚥下といった能動的な運動機能について多くの研究結果が発表されているのに対して、感覚という受容的な面からの補綴装置の評価は目にする機会が少ないように感じていました。

摂食の過程において、口唇、舌、歯列および口腔といった口腔内の各部位は、それぞれ複雑に協調して咀嚼、嚥下を行っています。具体的には「魚の小骨を口の中で上手く選り分ける」ことは快適かつ安全に食事を楽しむうえで大切な作業の一つですが、そこには「小骨を察知」し、それを「排除する」という感覚と運動の協働が見られます。この感覚と運動の相互作用にどのような要因が関わっているか、それに対して顎補綴装置がどのように影響を与えるのかに興味を持ったのが本研究に取り組んだそもそものきっかけです。

振り返れば迷いつまづいたことのみが思い出される大学院生活でしたが、多忙な臨床に従事しながら研究に邁進する諸先生方のお姿に、手を引かれ背を押される思いでどうにかこの研究をまとめることができました。その結果このような晴れがましい賞をいただき、心から嬉しく思っております。

当学会の益々の発展、また諸先生方のご活躍をお祈り致します。

Newsletter No. 17

Maxillofacial Prosthetics

関連学会のご案内

●第33回日本歯科薬物療法学会学術大会

日 程：6月15日（土）～16日（日）
 会 長：大谷啓一
 会 場：東京医科歯科大学
 問合せ：〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45
 医歯大・院・硬組織薬理学分野
 TEL：03-5803-5464

●第14回日本言語聴覚士協会総会・日本言語聴覚学会

日 程：6月28日（金）～29日（土）
 会 長：小橋 透（札幌医療科学専門学校）
 会 場：さっぽろ芸術文化の館（札幌市）
 問合せ：〒162-0814 東京都新宿区小川町6-29 9F
 日本言語聴覚士協会
 TEL：03-6280-7629

●第31回日本顎咬合学会学術大会

日 程：6月29日（土）～30日（日）
 会 長：渡辺隆史（小滝歯科医院）
 会 場：東京国際フォーラム
 問合せ：〒102-0093 東京都千代田区平河町1-8-2-201
 日本顎咬合学会
 TEL：03-3261-0474

●第26回日本顎関節学会総会・学術大会

日 程：7月20日（土）～21日（日）
 会 長：木野孔司
 会 場：一橋記念講堂
 問合せ：〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45
 医歯大・歯・顎関節口腔機能学分野
 TEL：03-5803-5713

●第23回日本口腔内科学会・第26回日本口腔診断学会 合同学術大会

日 程：9月13日（金）～14日（土）
 会 長：（日本口内科学会）田中陽一、
 （日本口腔診断学会）草間幹夫
 会 場：学術総合センター（東京都）
 問合せ：運営事務局（株）ネットワークインターナショナル
 TEL：03-2384-0351 FAX：03-5684-0354

●第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会

日 程：9月22日（日）～23日（月）
 会 長：石井雅之
 会 場：川崎医療福祉大学（倉敷市）
 問合せ：〒700-0975 岡山市北区今2-18-22
 （オフィスダン内）
 TEL：086-243-5581 FAX：050-3737-4393

●第27回日本口腔リハビリテーション学会学術大会

日 程：11月9日（土）～10日（日）
 会 長：小川 匠
 会 場：鶴見大学会館
 問合せ：〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
 （一財）口腔保健協会内
 TEL：03-3947-8891 FAX：03-3947-8341

一般社団法人日本顎顔面補綴学会広報委員会
 委員長 松山美和
 委員 関谷秀樹、堀 一浩、中島純子
 山口能正